

# 橋本地区公民館

# つれもていこら

橋本市市脇  
一丁目3番18号  
橋本商工会館2F  
TEL 34-2750  
発行部数4,100

## 現在、市内公民館の利用を休止しています。

新型コロナウイルス感染症の集団での感染リスクを抑え、皆様の安全を保障するため、4月14日～5月6日までの間、市内公民館におけるすべての貸館と入場を原則休止しています。(状況の変化により、急遽、利用休止期間の延長や閉館措置となる場合があります)

## 今後再開された場合に、公民館各部屋の利用について守っていただきたいこと

- ①換気の励行
- ②人の密度を下げる
- ③近距離での会話や発声、高唱を避ける
- ④体調の管理(体温37度未満であること)
- ⑤来館者カードの記入

※守っていただけない場合は、利用の取り消しをさせていただく場合があります。

利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ご理解いただきますようお願いいたします。

### 「低学年のための親子科学教室」

#### 参加者募集

毎月ひとつのテーマで科学の不思議を楽しく体験します。



日時 6月～3月第3土曜日全10回(原則)  
(午後1:30～3:30)

場所 橋本市教育文化会館

対象者 小学校1～3年生の児童と保護者  
(原則として全回参加)

定員 20組

参加費 1回200円(教材費)

申込み はがきに郵便番号、住所、電話番号、親子の氏名(ふりがな)小学校名、学年を明記し、下記あて先まで 5月30日(土)必着

あて先 〒648-0072 橋本市東家1-6-27  
橋本市中央公民館「親子科学教室」あて

(申し込み多数の時は抽選。結果は申込者全員にお知らせします)

問合せ 中央公民館 TEL32-0034

**募集の教室は  
延期・中止する場合があります**

### おもしろ算数教室参加者募集

毎月算数の楽しさを体感し、考える力を高めます。

#### ①【低学年のための親子おもしろ算数教室】

日時 6月～3月第3土曜日(原則)  
(午前9:30～11:30)

場所 橋本市教育文化会館

対象者 小学校1～3年生の児童と保護者

定員 20組 参加費 無料

#### ②【おもしろ算数・数学教室】

日時 6月～3月第3土曜日(原則)  
(午前9:30～11:30)

場所 橋本市教育文化会館

対象者 小学校4～6年生の児童(保護者同伴可)

定員 20人 参加費 無料

申込み はがきに住所、電話番号、親子の氏名(ふりがな)小学校名・学年、希望の教室名を明記し、下記あて先まで。 5月22日(金)午後5時必着

おもしろ算数・科学教室は、保護者の参加の有無を明記してください。

あて先 〒648-8585 橋本市東家1-1-1

橋本市生涯学習課あて

(申し込み多数の時は抽選。結果は申込者全員にお知らせします)

問合せ 生涯学習課 TEL33-3704



**問合せ：橋本地区公民館 TEL34-2750**

5月の休館日：3日・4日・5日・6日・11日・18日・25日

# 橋本小学校&橋本中央中学校だより 5月 主な行事予定

## ＜小学校＞

流れはつきぬ紀伊の川のように、146年の歴史を積み重ねてきた橋本小学校。令和2年度のスタートは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スムーズに進んでいませんが、4月9日に36名の新入生を迎え、243名の児童の笑顔が学校に帰ってきました。1年生の初めての下校指導では、昨年同様「エプロン先生」にお世話いただきました。これからも子どもたちの安心安全のため、職員一同力を合わせて参りますので、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



5月の行事予定は橋本小学校ホームページをご確認ください。  
現在のところ、行事はすべて未定となっていますが、  
ホームページ上で随時更新いたします。



1年担当



下校指導（エプロン先生）



集合写真



入学式

## ＜中学校＞

深緑の季節となりました。今月は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、家庭訪問や中間テスト①、PTA総会など様々な学校行事が中止や延期になりました。早く終息して学校で生徒たちの元気な声を聞きたいですね。

27日（水）橋本市標準学力テスト

30日（土）中学生熟議



展の会【春夏秋冬】

桜井 志代子

♪パプリカ



今年の一月末に橋本地区公民館の開館三十周年記念式典が催されました。

そのオープニングには、橋本こども園の園児による歌が披露され、会場のみなさんの気持ちを盛り上げてくれました。

歌い終えた子どもたちを拍手で見送る席の中ほどにいたわたくしに涙がこみあげたそれは、ひ孫のような園児たちの健気な様子と「パプリカ」などのむずかしい歌をうたいこなす技量に感動したものでありました。

昭和ひと柄生まれの自分をふりかえるとき、〈はとぼっぼ〉の歌が思いおこされます。幼稚園も保育園もない時代、まもなく十五年戦争が始まりみんな皆んな巻き込まれていったのでした。

それらの感慨が一気にわたくしに溢れたのでしょいか、涙をおさえる仕事をふしぎそうに見つめる来賓の方もいらっしやいました。

春が来てあとすこしで青葉若葉の照り映える五月になり、五月といえは「茶摘み歌」がおのずと口にはぼります。

夏も近づくと八十八夜／野にも山にも若葉が茂る／あれに見えるは茶摘みぢやないか／あかねだすきに菅の笠童謡などのゆったりとした情緒が身に染みているわたくしには難しい曲の「パプリカ」です。改めてネットをググってみたら、キーワードは「夢」であることや曲のフィードバックなども感じとれ、時代の流れに添えた気持ちになりました。

地区公民館の開館三十周年を記念する式典で出会った園児の歌が、わたくしに喜びをもたらしてくれたのでした。

